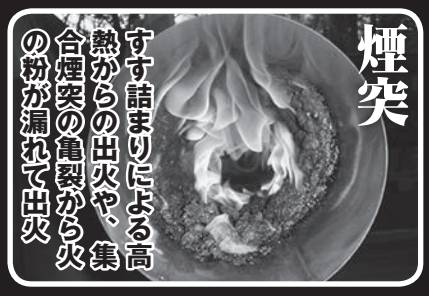
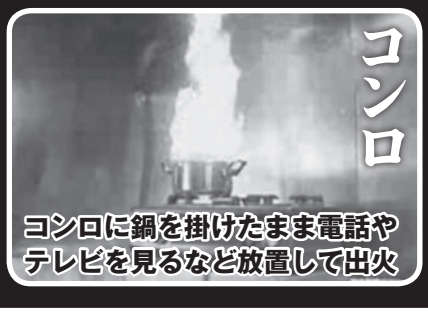
秋の火災予防週間特集
火災の予防と早期発見

10月に入り、そろそろ暖房器具を使うご家庭も増えてきたのではないでしょうか？

これからの季節、鍋物などの温かい料理で火器を使用する機会が増えてきますので、以下の事例に注意し、器具の劣化点検や掃除等をきちんと行い、火災を予防しましょう。





『まさか！』の火事・・・ですが『火災報知器』で助かる命があります！

ピーッ！ピーッ！ピーッ！火事です！

火災の重大事故は『火災初期に気付けなかった』というものがほとんどです。

上ノ国消防署の調査によると平成18年の火災報知器設置の義務化以降は、火災を未然に防いだケースが増えているとのことです。

何よりも大切な命を守るには、いかに早く出火に気付くかが重要で、報知器は火災の兆候に素早く反応して知らせる心強い機器です。

早期に気づくことと初期消火の大切さ

たとえば壁際で出火した場合、炎は平均３分で天井まで昇り、自力での消火は不可能となります。しかし、その前に気付けば家庭用消火器等で９割は鎮火できます。

また、最初の数分が『全焼』か『ボヤ』かの境目となりますので、火災報知器の有無が大きく影響します。

一般住宅用消火器の設置も効果的です

火災報知器とは違い設置義務はありませんが、家庭用の消火器があればいざというときに心強いです。上記のように、初期消火には多大な効果を発揮しますので、設置を検討してみてはいかがでしょうか？

注意▶ 最近町内では、高齢者宅を訪問して消火器の購入を勧めたり、消火剤の期限切れなどを理由に詰め替えを行っている業者も見受けられますので、ご注意ください。